

明治、大正、昭和の三代にわたつて使用された沼津御用邸は、昭和四十四年に廃止となり、沼津市管理のもとに記念公園として誕生した。前方には駿河湾、三保の松原や千本桜、また富士山、伊豆の連山も眺められる最勝の地。マツなど約五千本におよぶ樹木のしげる十五万二千四百平方㍍の広大な公園である。園内の建物には西陸下ご使用的調度品が展示されてい

志摩民俗資料館が開場

は同公園のなかにある。一階は海の民俗として漁業関係の史料、二

歴史知る手がかり 沼津市歴史民俗資料館

これは余談だが 私は子どものころに酒井雲という浪曲師の吹き込んだレコードで「赤穂浪士伝」とか何とかいうた浪花節を聞いたことがあるが、その中でこの家老大野が殊勝にも仇討説を強硬に唱えておきながら、当座の生活扶持の分前を受けると直ちに父子とも手をとり合って逃げたといつて言行一致の行状が噴飯もしたたり、呆れ返りたりしたものであった。このごとに、このみちのくの旅にお目にかかるう(?)とは思ってもみなかつただけに、変なといひで懐しさを覚えたものである。

この須賀川の日跡は、土地の中

学校の小豆畑先生が案内された。

彼市との文化関係の仕事を委嘱されでいるひし、今は夏休みであ

芭蕉はいの等第の屋敷に「四、五日とぬむる」と書いているが

風流の初めやおくの田植つた無上にしえんも、さすがにと語れば踢、第三といつけ三三巻となれば、伊右衛門(乍憚せり)さんなり。伊右衛門の今でいう町長であり、俳諧も心得ていた人だったので芭蕉は気易さを覚えたのである。

今様・國

須賀川はそばの特産地。その秘伝は播州からのものらしい。赤穂城明渡しの時、金だけもらって逃電した家老大野九郎兵衛(行かじの地の藩公にかくまれ、隨ひてきた女子どもが麿を打っているのを見て、土地の目算高い人々がその秘法を盗んで商売したものらしくるしみ身心つかれ、且はうばはれ、懐旧に腸を断つた。

今様・奥の細道

自然石の大台碑である。右のレバ
までに見ている芭蕉の句碑でこわ
は西の木と書きて西方淨士に便
(たより)ありと、行基菩薩の一
生杖にも柱にも、此木を用ひ玉る
とかや。
世の中の見付けぬ花や軒の栗
現在、この宿は電報電話局にな
つており、世をいどう僧の住んだ
場所は、その正門の右側に一坪ば
かり土地を造成して「軒の栗」の
句碑が立っている。黒板のよう
古びに句碑であった。
相樂等窮の邸の大半が電電の敷
参加者)

五、昨年度研修旅行「奥の細道」
釿持杜宇

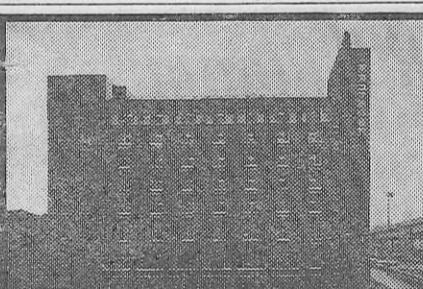
人者惟境，境者惟心。故曰：「境由心造，心随境转。」

修学旅行のお宿に 全館を開放

- 延暦寺会館本館
- 別館比叡
- 延暦寺会館第1別館 <収容600名様>
- 延暦寺会館第2別館

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき—。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会议事堂を間近かに望む
東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、
修学旅行の皆様に、より有意義な旅行を
していただくために、清潔で低廉に、し
かも最新の設備をほどこした全館和室の
観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585-1046(代表)

東京 コマ旅行会館

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒にです。